

梅雨の季節となりました。感じ方は人それぞれと思いますが、高温、多湿という条件では、“快適”と思う人はまれであると思います。しかし、日本人はこのような環境を受入れ、楽しく付き合ってしまう感覚を持っています。雨の中のアジサイ、お寺、庭園など、この時期であってこそ味わうことができるものです。皆様はどのような付き合い方をされているのでしょうか。

さて、今月は「快適性」を特集しました。鉄道をご利用になられる皆様にとって、安全性はもちろんのこと、利便性や快適性も

重要です。今月号で紹介した特集記事から、“快適”を提供するための鉄道総研の取り組みの一端をご理解いただけたら幸いです。

来月号は「検査診断技術」を特集します。日常的に行われる検査や診断は、鉄道を安全に運行するために重要な役割を担っています。これらの研究開発状況についてのご紹介を予定していますので、ご期待下さい。

余分な話ですが、ダニは湿度50%以下では活動が鈍るらしいです。(S.E.)